

令和6年6月27日(木) 13:30～

令和6年度第2回 引佐北部小中学校運営協議会

進行：教務主任

1 会長挨拶

2 校長挨拶

○ 開催要件確認

3 議長選出(委員の中から互選)

4 前回会議録の確認

5 協議：議長

(1) 学校評価アンケートについて

教務主任

(2) 児童・生徒との協議について

校長

候補日：10月 2日(水) 13:40～14:30

4日(金) 13:40～14:30

10日(木) 13:40～14:30

会 場：体育館

参加者：全児童・生徒、学校運営協議会委員、教員

① 縦割り班(9班)に1もしくは2人、委員・教員が入る。(20分)

② 各学級に1もしくは2人、委員・教員が入る。(20分)

テーマ候補：「どんな学校にしたいか」「どんな大人になりたいか」等

(3) 完走大会について

校長

6 報告

※いじめ対応の状況について

※今後の部活動について

7 連絡

(1) 第3回開催日時：

議長：

(2) その他

令和6年度 第1回 引佐北部小中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年 5月9日（木） 13時30分から15時50分まで
- 2 開催場所 引佐北部小中学校 多目的室
- 3 出席委員 鈴木 知成、山本 培代、廣瀬 稔也、池田 信子、五十川 亜純、
松田 好道、萬立 芳朗
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 小川 誠司（校長）、高柳 もと子（教頭）、中道 茂美（教務主任）、
平田 香織（教務主任）、田力 里枝（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 田力 里枝
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、五十川委員が推挙され、全員異議無くこれを承認した。

9 協議事項

- | | |
|---------------------------|---------|
| (1) 引佐北部小中学校いじめ防止基本方針について | 校長 |
| (2) 教育課程特例校について | 校長・教務主任 |
| (3) 学校運営協議会の年間計画について | 校長 |
| (4) 夢育やらまいか推進事業CS加算分について | 教頭 |

10 会議記録

- ・司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
- ・学校からの出席者の自己紹介を行った。
- ・浜松市学校運営協議会規則について校長から変更の説明があった。
- ・前回の会議録、前年度の自己評価表についての説明があった。

(1) 引佐北部小中学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づきいじめ防止基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・浜松市の基本方針が完璧なので、どこの学校も同じような取組をしている。本校の特色はあるのか。（松田委員）

→ 子供に考えさせることを取り入れた。今後も継続して考えていきたい。（校長）

- ・取組についての報告はどのように行うか。いじめのアンケートの主催はどこか。（萬立委員）

→ 報告はこの運営委員会やPTA総会など口頭で行う。アンケートの主催は浜松市教育委員会。年に2回を推奨しているが本校は3回行っている。（校長）

- ・いじめと感じていることを子供が言えているなら、風通しはいいと思う。（五十川委員）

- アンケート以外に教員が見ていて声かけをすることもある。(校長)
- 自分以外のことを心配して伝えてくれることもある。(平田教諭)
- ・ あたたかい雰囲気がこの学校の特色と思う。(池田委員)
- ・ 登校の見守りをしているときでも、元気がない子供は見ていてわかる。(萬立委員)
- ・ 子供、保護者、教員がお互いに何でも言える関係が作られるといい。(松田委員)

(2) 教育課程特例校について

校長より、標準的な教育課程に戻した場合の利点と欠点の説明があった。12年の間に文部科学省の学習指導要領も変わってきている。

- ・ 保護者や地域と議論を深めてから決めるのが大切。(鈴木委員)
- ・ 12年間の成果を検証する必要がある。検証委員会のようなものを作ってはどうか。卒業生にアンケートを取ってみたい。(廣瀬委員)
- ・ 特例校にすることで、教員数や費用面でのメリットはあるのか。(松田委員)
- ない。(校長)

(3) 学校運営協議会の年間計画について

校長から、年間計画について説明があった。子供を交えての協議会は2学期に変更し、それまでに話し合いのテーマや子供の参加者を考えたい。協議会のメンバーが子供の考え方をすることで、熟議が深まることを期待している。

- ・ 運動会の感想やきりやま販売、みさとパビリオンの目標を聞いてみたい。(五十川委員)
- ・ どんな学校にしたいかを聞きたい。(廣瀬委員)
- ・ 「どんな学校にしたいか」をテーマにすると、そこから色々聞き出せそう。(池田委員)

(4) 夢育やらまいか推進事業CS加算分について

教頭から加算分について意見書案の提示があり、協議の結果、全員異議無く承認した。

その他報告事項等

- ・ 司会から、次回会議は、令和6年6月27日(木)13時30分に開催する旨の報告があった。
- ・ 次回の議長は池田委員が選出された。

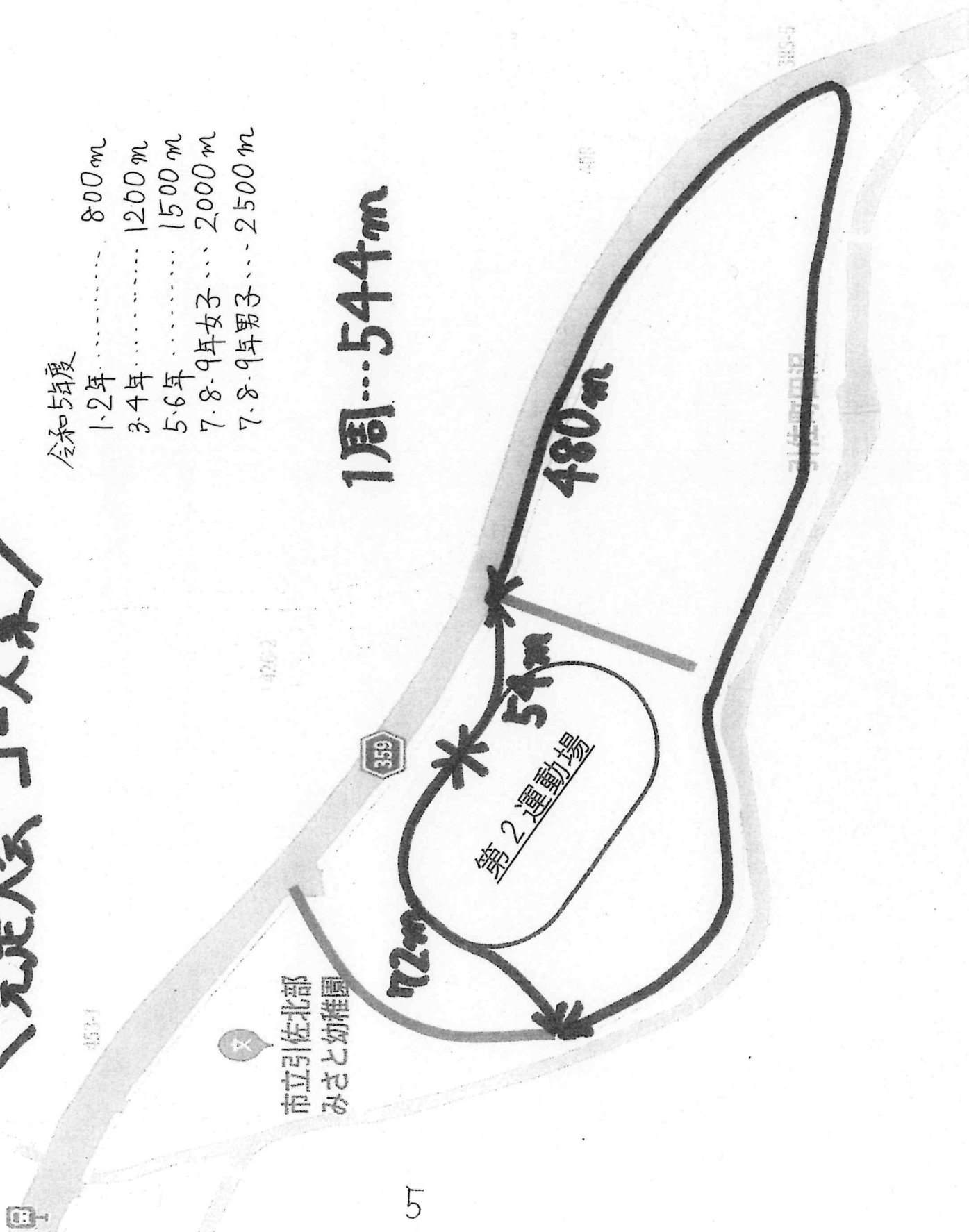
R6	項目	初等部	中等部	高等部	職員
1	心豊かに生きる①	子供 自分や周りの人のよさを見付けることができた。	それぞれの人の思いや考えを受け入れることができた。	それぞれの人の思いや考えを認め合うことができた。	児童生徒は、自分も他人も大切に、互いに認め合うことができている。
		保護者 お子さんは、自分や周りの人のよさを見付けることができています。	お子さんは、周りの人の思いや考えを受け入れることができています。	お子さんは、周りの人の思いや考えを認め合うことができています。	主語は児童生徒
	心豊かに生きる②	子供 周りの人と協力し合うことができた。	互いの良い点を取り入れて高め合うことができた。	夢や目標の実現に向けて、互いに高め合うことができた。	児童生徒は、自分も他人も大切に、互いに高め合うことができています。
		保護者 お子さんは、周りの人と協力し合うことができています。	お子さんは、互いの良い点を取り入れて高め合うことができています。	お子さんは、夢や目標の実現に向けて、互いに高め合うことができています。	主語は児童生徒
2	たくましく生きる①	子供 自分で目標をもつことができた。	自分で目標を決めて、挑戦することができた。	自ら目標を立て、計画的に取り組むことができた。	児童生徒は、自分に合った目標を立て、主体的に取り組むことができています。
		保護者 お子さんは、自分で目標をもつことができています。	お子さんは、自分で目標を決めて、挑戦することができています。	お子さんは、自ら目標を立て、計画的に取り組むことができています。	主語は児童生徒
3	たくましく生きる②	子供 失敗を怖がらずに挑戦することができた。	困難に負けないで、乗り越えようと努力することができた。	夢や目標の実現に向けて、挑戦し続けることができた。	児童生徒は、夢や目標に向かって、挑戦し続けることができています。
		保護者 お子さんは、失敗を怖がらずに挑戦することができています。	お子さんは、困難に負けないで、乗り越えようと努力することができています。	お子さんは、夢や目標の実現に向けて、挑戦し続けることができています。	主語は児童生徒
5	①児童・生徒の主体性の育成	子供 学習や行事、様々な活動に、自分から進んで取り組むことができた。	学習や行事、様々な活動に主体的に取り組むことができた。	学習や行事、様々な活動に「自分たちの学校は自分たちでつくる」意識をもって主体的に取り組むことができた。	児童生徒が「自分たちの学校は自分たちでつくる」意識をもって主体的に取り組めるように授業や課外活動を実施した。
		保護者 お子さんは、学習や行事、様々な活動に、自分から進んで取り組むことができています。	お子さんは、学習や行事、様々な活動に主体的に取り組むことができています。	お子さんは、学習や行事、様々な活動に「自分たちの学校は自分たちでつくる」意識をもって主体的に取り組むことができています。	主語は教員 保護者向けは、主語は児童生徒
	②授業における個別最適な学びの推進	子供 めあてをもって学習し、分かったことや次に頑張りたいことを見付けることができた。	自分に合っためあてをもって学習し、振り返りを生かして課題解決に向けて取り組むことができた。	自ら目標を立てて学習し、振り返りを生かして計画的に課題解決に向けて取り組むことができた。	児童生徒が個別最適な学びを進められるように授業改善に取り組んだ。
		保護者 お子さんは、めあてをもって学習し、分かったことや次に頑張りたいことを見付けることができています。	お子さんは、自分に合っためあてをもって学習し、振り返りを生かして課題解決に向けて取り組んでいる。	お子さんは、自ら目標を立てて学習し、振り返りを生かして計画的に課題解決に向けて取り組むことができています。	主語は教員 保護者向けは、主語は児童生徒
7	③授業における協働的な学びの推進	子供 友達の考えを聞いたり話し合ったりして、仲間と協力して学習することができた。	周りの人と思いや考えを共有しながら学び、よりよい考えを見付けることができた。	様々な人と思いや考えを認め合いながら、協働的に学びを深めることができた。	児童生徒が協働的な学びを進められるように授業改善に取り組んだ。
		保護者 お子さんは、友達の考えを聞いたり話し合ったりして、仲間と協力して学習することができています。	お子さんは、周りの人と思いや考えを共有しながら学び、よりよい考えを見付けることができています。	お子さんは、様々な人と思いや考えを認め合いながら、協働的に学びを深めることができています。	主語は教員 保護者向けは、主語は児童生徒
	④児童・生徒理解と個に応じた支援の実現	子供 先生たちは、自分の話を聞いてくれる。	先生たちは、自分のことを分かってくれている。	先生たちは、自分のことを分かってくれている。	学校は、一人ひとりの子供のことを理解し、個に応じた支援を行うよう努めている。
		保護者 学校は、一人ひとりの子供のことを理解し、個に応じた支援を行うよう努めている。	先生たちは、自分のことを分かってくれている。	先生たちは、自分のことを分かってくれている。	主語は学校

9	⑤いじめの未然防止	子供 「いじめ」を許さず、みんなが安心して過ごせるように考えて行動できた。	「いじめ」を許さず、みんなが安心して過ごせるように考えて行動できた。	「いじめ」を許さず、みんなが安心して過ごせるように考えて行動できた。	学校は、いじめを生まない環境をつくり、誰もが安心できる居場所づくりに努めている。
		保護者 学校は、いじめを生まない環境をつくり、誰もが安心できる居場所づくりに努めている。	「いじめ」を許さず、みんなが安心して過ごせるように考えて行動できた。	「いじめ」を許さず、みんなが安心して過ごせるように考えて行動できた。	主語は学校
	⑥いじめの早期発見・組織対応	子供 困ったときはアンケートや教育相談などで、先生に相談しやすく安心できた。	悩みがあるときはアンケートや教育相談などで、先生に相談しやすく安心できた。	悩みがあるときはアンケートや教育相談などで、先生に相談しやすく安心できた。	児童生徒と話し合い、様子や変化を家庭と共有したりして、子供理解に努めている。
		保護者 お子さんの話を聞いたり、様子や変化を学校と共有したりして、子供理解に努めている。	お子さんと話したり、様子や変化を学校と共有したりして、子供理解に努めている。	お子さんと話したり、様子や変化を学校と共有したりして、子供理解に努めている。	主語は教員 保護者向けは、主語は保護者
11	⑦家庭学習、長期休業中の課題の見直し、保護者との共通理解	子供 毎日、自分から家庭学習に取り組んでいる。	自分に必要な学習を考えて、自主学習を定着させながら自分の力を高める家庭学習に取り組んでいる。	進路を視野に入れて、自分に合った学び方を見付けて、家庭学習に取り組んでいる。	児童生徒が、進路実現に応じて自分に合った学力を見付けられるよう主体的に家庭学習に取り組めるよう支援できた。
		保護者 お子さんが、学習の習慣を身に付け、課題に取り組めるように見聞けている。	お子さんが、自分に必要な学習を知り、自主学習を定着させながら自分の力を高めるように、見聞けている。	「家庭学習について」をもとに、進路を視野に入れて、目標に向かって家庭学習に取り組めるように見聞けている。	主語は教員 保護者向けは、主語は保護者
12	⑧社会に関わった教育課程の推進	子供 地域の人に様々なことを教わったり、一緒に活動したりして、仲良くしている。	地域の人から教わったり、共に活動したりして、温かい関係を築いている。	地域の方から学んだり、共に活動したりして、温かい関係を築いている。	学校は、地域と連携・協力して教育活動を行っている。
		保護者 学校は、地域と連携・協力して教育活動を行っている。	地域の人から教わったり、共に活動したりして、温かい関係を築いている。	地域の方から学んだり、共に活動したりして、温かい関係を築いている。	主語は学校

〈完走大会 コース案〉

令和5年度	
1・2年	800m
3・4年	1200m
5・6年	1500m
7・8・9年女子	2000m
7・8・9年男子	2500m

1周…544m



中学校部活動（土日の地域移行を含む）について

本校の中学校部活動は、運動部2（卓球部、女子バレーボール部）と総合文化部の三つからなる。現在は希望加入制となっており、それぞれの部員数及び今後の生徒数は以下のとおりである。

	9年	8年	7年		6年	5年	4年	3年	2年	1年
女子バレー	1	3	1	男子	9	3	3	5	4	5
卓球	3	3	3	女子	4	3	3	4	3	1
総合文化	6	4	2							
未加入	3	2	2							

今後の予測（R6、6、27現在）

	R6		R7		R8		R9		R10
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春
女子バレー	5	4	5	2	4	3			
卓球	9	6	13	10	11	8			
総合文化	12	6	9	5	7	5			
未加入	7	4	6	4	1	3			
現学年	987	87	876	76	765	65	654	54	543

※6、5年生は、学級担任の聞き取りによる人数。

浜松市においては、令和8年9月から随時、土日の部活動を地域に移行していく目標が立てられているが、平日の部活動についても、検討が必要と考える。

①



②



⑦

③



④



○

⑤



⑥



